

千葉大学理学部 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

■自立した社会人・職業人として要求される総合的能力と倫理観を身に付けることができるように、普遍教育と理学の基礎を修得するための専門教育をバランスよく編成し、提供する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

■自己の専門領域の社会的、文化的位置づけを理解し、自己の専門的能力を持続的な社会の発展のために役立てることができるように、幅広い視野の醸成、批判的精神の涵養、豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶を目的とする普遍教育と、専門教育をバランスよく編成し、提供する。

■諸課題が地球規模となる時代に対応した教育環境を提供するとともに、地域を支える人材育成に取り組む。

「普遍的な教養」を涵養するために

■国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境を深く理解し、人類や社会が直面する課題について、多面的な認識及び取り組みの姿勢を持つことができるように、普遍教育の「教養コア科目」と「教養展開科目」および「初修外国語科目」を体系的に選択できるようにする。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

■専門領域での必須事項を段階的・体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。

■実験や実習あるいは演習、さらには卒業研究を通して、修得した専門領域での知識、論理的思考や手段を、学生が主体的に活用できる実践的教育の機会を提供する。

■社会に貢献し、社会を牽引するイノベーション創出のための教育環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

■演習、卒業研究および実験・実習の結果発表会を通して、コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を目指す実践的教育の機会を提供する。

■普遍教育の「英語科目」や理学部と各学科が提供する英語科目を通して、英語の基礎能力を高める教

育を提供する。

■情報通信技術などの利用を含め、種々の方法で必要な情報を適切に収集、取捨選択、整理、分析、発信し、知的財産権や情報倫理にも配慮しつつ利用することができるように、普遍教育の「情報リテラシー科目」と専門教育における情報関連科目を提供する。

■他者と協調・協働して行動し、主体的・能動的に問題解決に取り組むことができる能力の涵養のために、協働で行う実験や実習の機会を提供する。また、普遍教育の「スポーツ・健康科目」を履修することもこの能力獲得に役立つ。

■獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会的要求を踏まえて自らが立てた新たな課題を解決できるようにするために、卒業研究等の学生自身による自主的・実践的研究の場を提供する。